

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年3月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691400107
法人名	医療法人 浩愛会
事業所名	グループホーム ひいらぎ
所在地	鹿児島県垂水市柘原625番地2 (電話) 0994-35-3686
自己評価作成日	令和3年3月2日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年3月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

理念である「思い・願いを大切に笑顔で明るく楽しい生きがいつくり」をモットーに、入居者様が安心・安全にその人らしい生活が送れるようにスタッフ皆で情報の共有に努めチームケアに取り組んでいます。今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため隣接している小規模多機能ホームや地域の方々との交流ができませんでしたが、施設内だけでも楽しめるレクリエーションの工夫や短時間の散歩やドライブなどを取り入れ、入居者様がストレスを感じず過ごして頂けるよう支援しています。またスタッフ一丸となって感染症対策を徹底して行い施設内に持ち込まないよう日々努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・母体が医療法人であり24時間医療連携体制が整っており、健康管理や医療面で本人や家族の安心につながっている。
- ・小規模多機能ホーム「くぬぎの里」と隣接して、避難訓練や行事等の連携が取れ、職員間の協力がある。
- ・自治会に加入し地域住民との関係が密である。会合は自粛しているが、散歩時のあいさつや声掛け・野菜をいただく等の交流をしている。
- ・自分でできることはしてもらい、残存機能の喜びを利用者に与えている。
- ・家族に月毎の便りを送付し、利用者の近況を報告している。
- ・職員間のコミュニケーションが良く、統一した介護サービスを行っている。
- ・法人主催の研修会やホームでの勉強会を設けて、職員の資質向上を目指し、資格取得を奨励し協力的である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	各職員理念に沿った年度目標と事業所の目標を掲げて、理念の確認と目標進捗状況について定期的に面談を行っている。	理念は玄関やホールに掲示し、パンフレットにも掲載している。理念をケア会議で話し合い確認しながら共有し実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	新型コロナウイルス感染拡大防止のため地域の方々との交流は控えているが住宅街にあるのでご近所とのふれあいや日頃の挨拶は行っている。	自治会に加入している。地域行事はコロナ感染防止の為、自粛している。事業所としても隣接の小規模多機能ホームとの交流やボランティア受け入れを自粛し、日常的に散歩や買い物の時に、声掛けやあいさつを交わし、住民からの野菜の差し入れがある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	夏祭りや敬老会等の年間行事で認知症をテーマに寸劇等行っていたが今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため行えていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市役所・民生委員・警察官等出席され事業所の取り組み、地域の現状等を報告・意見交換をしている。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため思うように開催できなかった。	コロナ感染防止の為、会議は2回のみ開催し、利用者や事業所の現状と報告をし、意見交換を行った。市には資料を持参して事業所の取組みを報告した。出された意見をサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議や市開催の研修会等で担当者と会った時は、挨拶程度でも話をするようにして相互の情報を交換し、協力関係を築けるようにしている。	市の担当者とは、電話で話したり窓口に出向き、申請書類の相談をする等、助言を貰っている。運営推進会議でも情報を交換している。市開催のウェブ研修会に参加し情報収集に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人研修やケア会議で身体拘束を行わないことは理解できていますが言葉の拘束「待って下さい」がみられるので理由付けするように努めている。	法人全体で身体拘束委員会を、3ヶ月毎に開催している。年2回言葉の拘束も含め勉強会を行い職員の理解を深めている。日中は玄関の施錠はしていない。外出希望者には職員が寄り添って庭の菜園を一緒に散歩し気分転換を図っている。隣接事業所職員から声かけをしてもらう場合もある。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修や法人内での勉強会を通して虐待にたいしての認識に努めている。職員同士意識しあい防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	院内勉強会で毎年実施され全員参加が義務付けられている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時説明を行っている。不明な点があればその都度対応している。また改定等あった時は文書にて案内している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会・電話の際話をきいてご意見、ご希望等あればできるだけ添えるようにスタッフ間で情報の共有をしている。	利用者からは日頃の会話の中で意見等を聞いて対応している。家族からは、電話や来訪時に、聞いて可能な限り反映させている。「外出を自粛しているので、好物を食べさせて欲しい」との要望に応じたり、リモート面会を開始できるように準備中である。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ケア会議、日常の会話、個人面談等で出た意見を運営に反映している。	管理者は普段から話しやすい雰囲気作りに努めており、ケア会議等で出た支援についてや業務に関する提案を、運営に反映させている。管理者は個人面談を2ヶ月毎に行って、個人的相談やシフト交代の報告を受ける等、円滑な業務運営に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	厳しい現状の中で整備されていると思う。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内の勉強会や各事業所での勉強会、外部の研修会など職員のレベルに合わせた研修に参加してもらいスキルアップできるよう取り組んでいる。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修会等で話をして得た情報をケア会議や日頃の会話の中で伝えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族や前の施設からの情報を基にご本人の様子をみながら無理のないように信頼関係を築きその人らしい暮らしができるよう心掛けている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族の要望・困り事に耳を傾け入居者様の状況を説明して不安の解消に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人・ご家族の要望をよくきいて、ケア会議でスタッフ全員で協議し必要なサービスを提供できるようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ご本人と共に生活している家族のような関係を作り野菜の下ごしらえや洗濯など出来る事は協力してもらい自宅にいるような環境作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時、電話等で入居者様の情報を伝えご家族の要望をできる限り実現できるようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	感染症対策で面会や外出が禁止されていますがこれまでのご本人の築いてきた関係を絶たないように努めている。	コロナ感染防止の為、隣接事業所との交流や外出を自粛しており、家族との窓越し面会や電話・手紙での交流を支援し、事業所の広報誌による近況報告等で関係が途切れないように取り組んでいる。整容は職員が対応し、馴染みの人や場との関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の関係性を把握してトラブルに留意しながら早目の対応を心掛け孤立しない支え合える関係づくりに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	挨拶や各行事のお知らせなどを通じて関係を保っている。相談等あればできる範囲で支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様の意向を第一に本人の思い願いが反映できるように職員間で検討している。	日頃から表情や仕草から思いを把握したり、表出し易い声掛けを工夫している。困難な場合は家族と相談したり、職員で話し合い、本人の思いを中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時のサマリーやモニタリングに目を通し把握に努めている。ご家族やスタッフとの関わりで得た情報も共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の関わりの中でできる事・できない事を探り、できる事が継続していけるようスタッフ間でケアの統一に心掛けている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人やご家族の意向を参考にしてケア会議でスタッフ間での情報交換を行い介護計画を作成している。	本人や家族の意向を把握し、ケア会議で主治医の意見を参考に介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを行い、必要時に見直ししている。状況変化の時はその都度見直しして現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌は一日が一目でわかるように見やすくしている。変化や気づき等あった時は個別に記録しスタッフ間で共有し介護計画の見直しや実践に役立っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	スタッフ間で情報を共有し必要なニーズに対応して可能な限り実践している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現在感染症対策のため事業所行事、地域行事も中止となっており交流ができていない。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前の主治医と連携を図り緊急時にもすぐに対応できるようにしている。	本人・家族の希望するかかりつけ医を確認し、協力医の月2回の往診や家族の協力も得て受診を支援している。緊急時は協力医の指示で対応し、結果を家族に報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>状態変化があった時は必ず報告し指示をもらい対応している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>ご家族や入院先の相談員と連携し情報交換を行い退院後も支障なく生活ができるよう努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>時期をみて早い段階で主治医も含めて説明を行い、本人・ご家族の意思を確認し同意書を作成している。また意向に添えるよう情報の共有をしながらチームケアに取り組んでいる。</p>	<p>重度化や終末期に向けた針指があり、入居時に説明し同意を得ている。状況が変化するにつけ医師から家族や職員に説明している。老人保健施設か居宅・ホームかの意向に沿って支援している。看取りの希望があれば対応できる。看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年一回救命訓練（心肺蘇生法、AED使用法）を実施、緊急時に備えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回昼夜想定で避難訓練を実施している。近隣の公民館と1次避難所に関する協定書を作成した。</p>	<p>避難訓練は年に2回消防署立ち合いで実施している。今回は事業所職員のみで実施した。大雨の時は法人本部へ避難している。地域との協力体制が築かれている。非常用の備蓄は水や米・カレー・ご飯・レトルト食品・缶詰・ナッツ類等を用意している。カセットコンロ等も確保し、リスト管理をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	敬意を持って笑顔で接しプライドを傷つけないように人格を尊重しながら言葉遣い・接し方を心掛けている。	法人で接遇の研修会を実施し、一人ひとりを尊重したケアに努めている。名前はさんづけで呼んでいる。入室時のノックや声かけ、失禁時の気配り、申し送りは入居者に聞こえないようにしている。プライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	スタッフの判断ではなく入居者様の意思確認をし判断してもらっている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	パーソンセンタードケアを基本にしてその人のペースで生活できるよう努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご本人の意思を大事にしながらアドバイスして季節に合わせた服装を選んでもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	季節を感じられるメニューやお菓子作りをしている。野菜の下ごしらえや片付けができる方にはしてもらっている。	嗜好や形態に配慮し、きざみ食・とろみ食・ミキサー食等に対応している。行事食や誕生会はケーキ・寿司・弁当等を提供し、食事を楽しんでいる。つわの皮むき・きぬさやの処理・テーブル拭き・片付け等、職員と一緒にやっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者様の状態により提供法をかえたり各利用者様の水分摂取量をみながら管理している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後声掛けを行いできる範囲で行ってもらいできない所は職員が手伝っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	本人の状態、排泄記録表をみながら声掛けや誘導を行い、自己にてトイレでの排泄ができるよう支援している。	記録表を参考に手引き・歩行器・車椅子等で声掛けや誘導を行ない、日中はトイレでの排泄を基本に支援している。夜間のみオムツ・ポータブルトイレを使用したり、コロナ対策で居室で過ごす時間が多い利用者は、日中もポータブルトイレを使用している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄記録表で排便の状態を確認し個々に応じて薬剤の使用など検討し快適な生活ができるようにしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	その日の体調に合わせて希望に応じて対応している。	隔日の午前中を基本に支援している。希望に応じて午後の時間帯でも対応している。2人介助も実施し、本人の好みの石けん等を使用して入浴を楽しんでいる。嫌がる場合はタイミングを見て声掛けし入浴支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様のペースに応じて居室に戻って頂いている。安眠できるよう室温調整や寝具調整も行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医療管理簿を作成し個々の薬の情報をすぐに確認できるようにしている。ご本人の状況により手渡しや全介助までその方に合った与薬を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活層や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方のできる事に合わせて手伝いをもらったり、それぞれの嗜好品を提供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>感染症対策で外出禁止となっておりいつものように遠足や外食には行けていませんが、気候をみながら近所を散歩をしたり、屋外で食事やお茶をしています。</p>	<p>日常的には近隣の散歩やドライブに出かけている。外食の代わりに弁当を持って車椅子の利用者も一緒に楽しんでいる。計画を立ててドライブで車窓から季節を感じ、初詣に行ったり、海を眺めたり、室内でそうめん流しやお茶等を工夫しながら外出支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自己管理ができる方は自分で持ってもらい、出来ない方は買い物希望などあればご家族に買ってきてもらっています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話をしたい時に自由にされご家族から電話があるときは居室でゆっくり話ができるよう配慮している。毎年賀状・暑中見舞いを写真付きで作成し、ご家族にも喜ばれている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節感が感じられる展示物を共用の場に展示している。また湿度・温度を測定し過ごしやすい空間作りに努めている。</p>	<p>共用空間は、明るく室温や湿度・換気に配慮し快適に過ごせるようにしている。季節感のある作品を飾り楽しんでいる。和室で日光浴や昼寝をしたり、ソファでくつろげるよう配慮し、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間でもソファを置いたりしてパーソナルスペースの確保が出来る様に配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が使い易いように配置し自宅で使用していた馴染みの物やお気に入りをおきなどして居心地の良く過ごせるように工夫している。	エアコン・ベッド・タンスを設置している。家から持ち込んだテレビ・机・椅子・洋服ケース等を置き、家族写真・ぬいぐるみ等を飾り、居心地よく過ごせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	それぞれに合った環境を作れるようにスタッフ間で連携し支援していく。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない